

# 子や孫の世代が 住み続けられるまちへ

大山町長

竹口大紀



大山町長に就任いたしました竹口大紀です。町政を担う重責を感じながらも、町民のみなさまの声に耳を傾け、新しい大山町をつくりあげていこうと決意を新たにしております。

全国的に、地方から都市部への人口流出や少子高齢化が進んでおり、大山町も例外ではありません。町内の若い世代が進学や就職を機に、首都圏や近隣市町村へ出てしまつて、そのまま大山町に戻つてこないという状況もよく耳にします。通学や通勤に時間がかかる、やりたい仕事がない、便利のよいところに住みたいなど、理由はいろいろあるでしょう。しかし、この状況を放置すれば大山町はどんどん衰退してしまいます。

私が働く現役世代を地域に残すための政策を掲げるのは、大山町民全体の利益につながるからです。例えば、若い世代が多く住み、子どもの数が増えれば、人口が増えて集落がにぎわうことはもちろん、古くから続く伝統行事の継承が可能になるなど、集落の維持や活気につながります。

地域で働く人が増えれば、地域での消費も増え、地域産業の発展や活性化につながります。農林水産業や商工業の、後継者不足の解消にもつ